

宮日報道と読者委 本県データ 分析し明確化 パラスポーツにも注力を



統計データを用いた企画「ハカル×ローカル」やスポーツと地域活性化などについて議論した「宮日報道と読者委員会」22日午後、宮崎市・宮日会館

宮崎日日新聞社の報道の
と読者委員会」(委員長・
水永正憲延岡市キャリア教
在り方を考える「宮日報道

育支援センター長)の第73
回会合は22日、宮崎市の宮
日会館であった。宮崎の実
情を豊富なデータを使って
測り、課題を考える「ハカ
ル×ローカル」や、「スポ
ーツと地域活性化」をテー
マに意見を交わした。
水永委員長と有馬晋作委
員(宮崎公立大名誉教授)、
伊達紫委員(宮崎大理事補
佐)が出席した。
ハカル×ローカルについ
て有馬委員は「なんとなく
感じていたことがデータで
はつきりしてきた」と評価
した上で、「データ分析で
終わっているが、主張につ
ながる展開まであっても
い」と述べた。

水永委員長は「今まで頭
の中だけで考えていたこと
がグラフになって頭に入っ
てきた」とグラフの効果に
ついて言及。「読者は記事
とグラフの整合性を取りな
がら理解しようとする」と
して、記事に登場する数字
はグラフ化するよう求め
た。

スポーツ報道で伊達委員
は、来年秋に控えた「日本
のひなた宮崎国スポ・障ス
ポ」について、「パラスポ
ーツこそ報道に力を注い
でほしい」と要望。合宿の
ポテンシャル、選手の素顔
紹介などを提案した。

(30日付に詳細を掲載予
定)